

マッチングサービス「スタイリスト」

コーディネートや
買い物をサポート

ファッションのスタイリングやディレクション、コンサルティング事業を行うファッションパートナー（東京、小野田史代表）は1日、パーソナルスタイ

リストと一般消費者のマッチングサービス「スタイリスト」を開始した。ユーザーがサイト上で選んだプロのスタイリストが自宅を訪問して、服のコーデ

ネート提案や断捨離をサポートする「ワードローブエディット」と、一緒に買い物に行く「ショッピングアテンド」の2つのサービスを提供する。



自宅でコーディネート提案やお直し、断捨離をサポートする



ショッピングアテンドはピアリングシートを使い、日常的に使いやすかった

雑誌やテレビCMで活躍するプロのスタイリストのノウハウを一般消費者にも提供すること、スタイリストの仕事の幅や活躍の場を広げたいという思いからスタートした。従来のパーソナルスタイリストは、価格や敷居の高さから手を出しにくいイメージがある

ため、どうしても使いやすいかを試行錯誤したという。

3月末にクラウドファンディングでテストマーケティングしたところ、想定よりもユーザーの年齢層が若く、20代半ばから30代前半が多かった。ドレスアップ時の服装よりも、仕事にも着て行ける日常着のコーディネートや、手持ちの服の着こなしを知りたいというリクエストが多く、「必要としている人が多そうだった」と小野田代表は話す。よりなじみやすく、美容室のような感覚で使ってもらえることができるように価格や提案の仕方、サービス内容を検討した。

ワードローブエディットではスタイリストそれぞれの特性を生かせる仕組みにした。テラ出身のスタイリストであればお直し、お手入れが得意なスタイリストは靴磨きなど、自分の得意分野を付加価値として提供

することもできる。ショッピングのオーナーもスタイリストとして登録できるため、外商のような商品提案も可能だ。

ショッピングアテンドは、元々パーソナルスタイリストの主な仕事の一つ。日常的に使いやすいように事前のヒアリングはシートに記入してもらうことで、ユーザーの時間を節約できるようにした。家に知らない人を招くことには抵抗がある人も、買い物であれば気軽に使えると考えている。

価格はどちらのサービスも、1時間1万円。将来的には各スタイリストが自由に設定できるようにしていきたいという。現在の登録スタイリストは15人程度で、主に都内や東京近郊でサービスを実施している。今後は販売員やショッピングオーナーにもスタイリストとしての登録を進め、全国にサービスを広げていきたいと考えている。